
短編シリーズ*旅路

新にゆ一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編シリーズ* 旅路

【Z-コード】

Z5202B

【作者名】

新にゅー

【あらすじ】

これはもう決まっていることだから…。でも僕はそれを受け入れない。僕は彼であり、彼は僕だから…この路を辿るしかないんだ…。

(前書き)

短編シリーズの第2弾です！今回は暗めで「いやこまか…」。よろしく
お願いします。

僕はこの道を辿つて、親の跡を継ぐという道しかない。
もう決まつてることだから。

僕が生まれたあの日から、こゝなることは決まつていたから。
僕はそのことに気づいてしまつたから。

もう耐えられないんだ。僕は、この決まつた運命に。この、一族
の血に。

もう縛られたくない。僕は、自由になりたい。

一人になりたいんだ。

僕は……、僕は……。

孤独を求めてるんだ。

つい2年前、ある資産家の一家で反乱が起きた。彼は家の資産を
すべて持ち去り、大勢の友達、執事と共に闇に消えた。
みんなが彼を信じていた。頼つていた。

だから、みんなみんな、彼に付いていった。
一族の主人を捨ててでも。

そして、この事件……その主犯が僕なのだ。
僕が彼であり、彼が僕なのだ。

過去に、もみ消された事件で似たようなことがあった。その彼も
反乱を起こし、資産を持ち去つた。

「僕と一緒にだ」

僕は彼の旅路を辿るしかないなんだ
知つてゐる。知つてゐるけど、僕は……

辿るしかないんだ。それが、僕の罪滅しになるのなら、僕は何があっても、どんな不幸が僕に降りかかるうとも、その路を歩き続ける。

僕はただ、妹と…妹のアイと一緒にいたかつただけなのに…あの男は僕と妹を引き離し、母を捨て、愛人と生きることを選んだ…。僕は一族をつなぐためだけの存在だつて。

あの男…父と初めて会ったときから、あの顔を初めて見たときから、薄々感じていた。

でももう手遅れ。

もう

あの平和な頃には
戻れない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5202b/>

短編シリーズ*旅路

2010年11月13日03時18分発行